

令和6年産 梨授粉用花粉確保に向けた取組み結果

(令和5年度花粉供給緊急対策事業の実績報告)

1 開葯機による花粉確保実証試験

○目的

事業導入した開葯機(株ミツワ M-600D)活用し、生葯から粗花粉を精製(目標:1,170g)し、中国花粉分相当量(100g)を補完する純花粉量を確保する実証に取り組んだ。

【開葯機】



○方法

- ・受粉樹品種 「長十郎」

- ・花粉開葯期間

令和6年4月3日から4月5日

(採花後、開葯機において25℃/約1日加温)

○結果

生葯 4,968g から粗花粉 1,341g (27.0%) が精製出来た。

※純花粉 114g に相当(千葉県資料により試算した粗花粉量から算出)

2 花粉確保の体制構築と技術指導の徹底等

国の中国産花粉の緊急輸入停止措置(令和5年8月30日)に伴い、小川梨生産組合における梨授粉用花粉を確保するため、生産者と関係機関による検討会を開催し、事業導入調整、産地での花粉確保体制を検討、また花粉採取技術指導、及び実証試験の評価を行った。

○令和6年1月5日: 梨花粉確保検討会

- ・出席者: 小川梨生産組合代表者3名、JA 山口県、萩市、県萩農林水産事務所

- ・内 容:

 - 事業導入に係る役割とスケジュール調整

 - 開葯機による花粉確保実証試験の必要性の説明とデータ収集に係る依頼

 - 産地内での花粉供給体制の構築に係る検討

 - 花粉確保に向けた技術講習会の開催

○令和6年2月9日: 梨花粉確保に向けた技術講習会

- ・出席者: 小川梨生産組合員 16名

- ・内 容: 花粉採取技術の説明、令和6年産梨生産量確保・維持に向けた指導

○令和6年8月2日: 梨花粉確保成果報告会

- ・出席者: 小川梨生産組合代表者3名、JA 山口県、萩市、県萩農林水産事務所

- ・内 容: 開葯機による花粉確保技術実証試験結果の評価・公表方法の検討